



**COME BACK
GEESE**

**YAGIYAMA ZOO
JAWGP
RUSSIAN ACADEMY**

制作：仙台市公園緑地協会

シジュウカラガン

1982年

八木山動物公園にシジュウカラガンの繁殖施設ができる！
2年後、初めてのヒナが誕生し、野生復帰事業が始まった。



1995～2010年

シジュウカラガンの雛鳥を八木山からカムチャツカに送る。
そこで生まれた若鳥をヘリコプターでエカルマ島に運び、放鳥した。



2007/08年

放鳥したシジュウカラガンが家族を連れて飛んできた。



1972/73年

伊豆沼でも3羽のシジュウカラガンが見える。



シジュウカラガン

復活!

Branta hutchinsii leucopareia

to be continued



2015/16年

飛来数3,000羽越え!



1962年

高橋が記さる。アリューシャンでアメリカの研究者がシジュウカラガンの小群を発見。▶アメリカ政府は羽数回復チームを作り、成果を上げる。



1938年

千島列島やアリューシャン列島からシジュウカラガンが姿を消す。日本への渡来も途絶えた。

シジュウカラガン
絶滅?



20世紀初頭

世界的な毛皮ブームによりシジュウカラガンの繁殖地の島にキツネが放たれる。



絶滅したと思われていたシジュウカラガンが復活するまでの物語

シジュウカラガン



Branta hutchinsii leucopareia

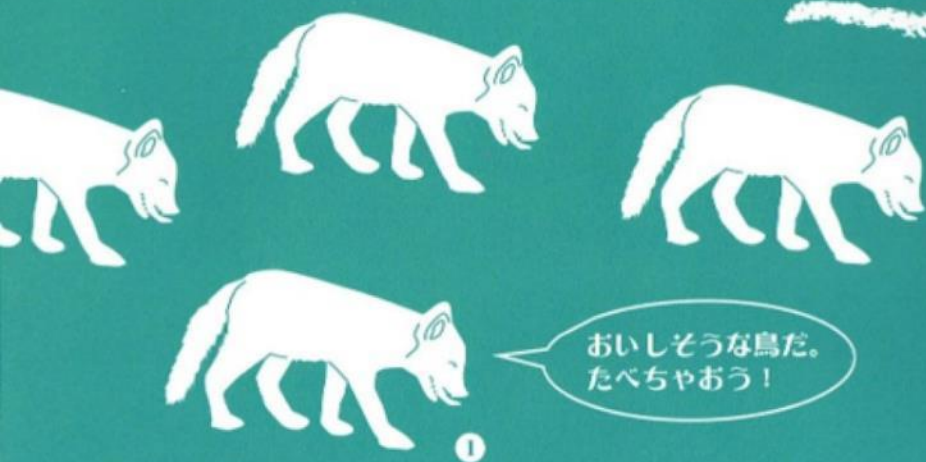
発行: 日本雁を保護する会 / D&I: 幕田晶子

公益信託「サントリー世界愛鳥基金(2017年度)助成金で作成した冊子より作成

絶滅したと思われていた シジュウカラガンが復活するまでの物語

20世紀初頭

世界的な毛皮ブームにより
シジュウカラガンの繁殖地の島に
キツネが放たれる。



1938年

千島列島やアリューシャン列島から
シジュウカラガンが姿を消す。日本
への渡来も途絶えた。



絶滅したと思われていた シジュウカラガンが復活するまでの物語

1962年

奇跡が起きる。アリューシャンでアメリカの研究者がシジュウカラガンの小群を発見。▶アメリカ政府は羽数回復チームを作り、成果を上げる。



③

1972/73年

伊豆沼でも3羽のシジュウカラガンが発見される。

日本の空にもう一度
シジュウカラガンの群れを
呼び戻そう！

初代 日本雁を保護する会会長
横田義雄



④

絶滅したと思われていた シジュウカラガンが復活するまでの物語

1982年

八木山動物公園にシジュウカラガン繁殖施設ができる！
2年後、初めてのヒナが誕生し、
野生復帰事業が始まった。

アメリカの協力



5

1995～2010年

シジュウカラガンの親鳥を八木山からカムチャツカに送る。
そこで生まれた若鳥をヘリコプターでエカルマ島に運び、放鳥した。

ロシアの協力



6

絶滅したと思われていた シジュウカラガンが復活するまでの物語

2007/08年

放鳥したシジュウカラガンが
家族を連れて渡ってきた。



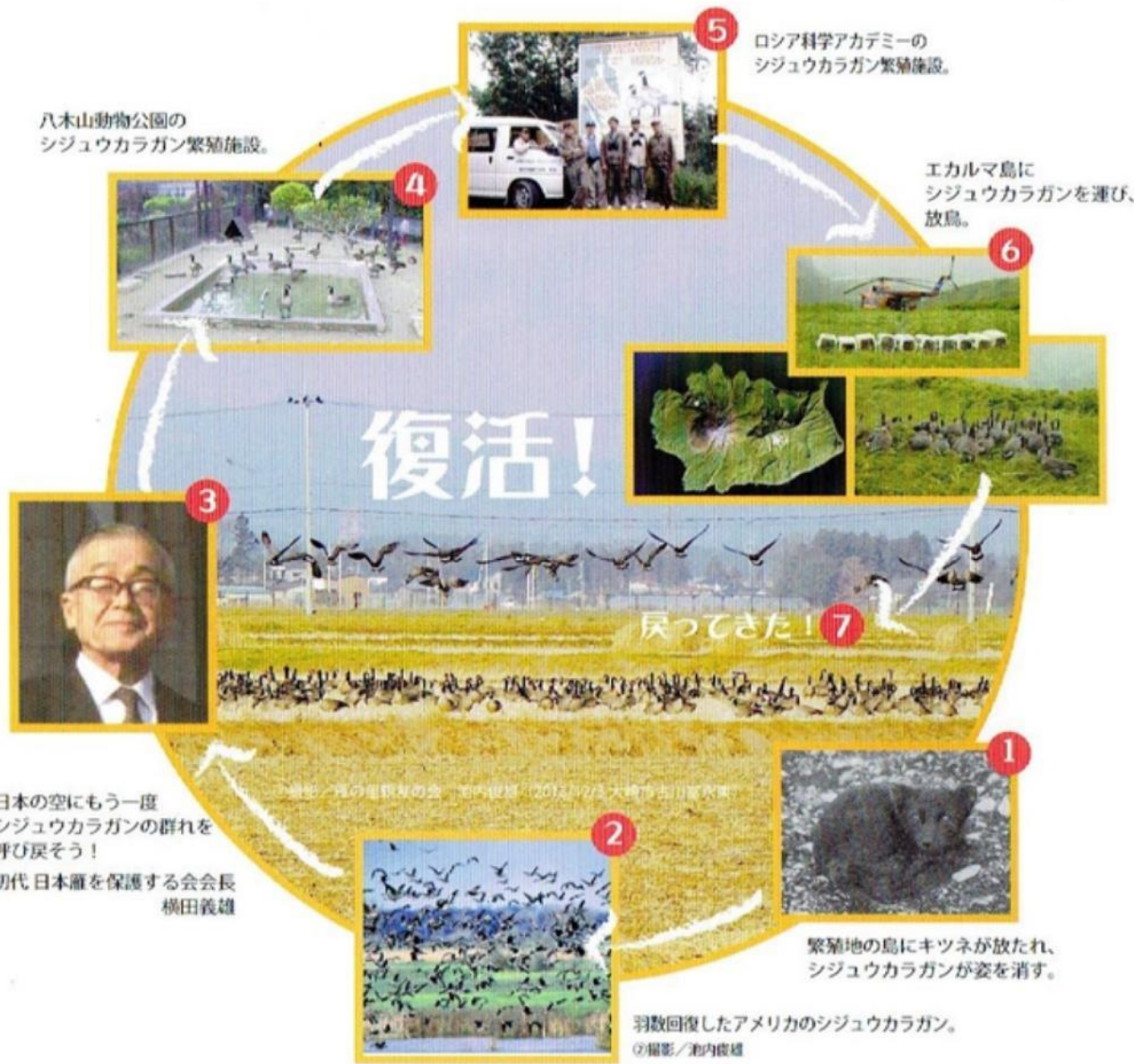
7

2015/16年
飛来数3,000羽越え!



8

絶滅したと思われていた
 シジュウカラガンが
 復活するまでの物語



絶滅から復活への道

黒い頭と首に、白い頬と首輪が目立つシジュウカラガン。仲間のカナダガンに似ていますが、体がずっと小さいため、外敵が少ない千鳥やアリューシャンの安全な鳥々で繁殖していました。

しかし、20世紀初頭、毛皮目的でこれらの鳥々に放された沢山のキツネの餌食になり、江戸時代には、「十羽のうち、七、八羽がシジュウカラガン」ほど多かったこの鳥は、あっという間に姿を消しました。そのため絶滅したと思われていましたが、1962年にアリューシャンの小島で小群を再発見したアメリカは、羽数回復事業を始め、その後日本でも横田会長(当時)を中心に、その群れを呼びもどす運動が始まりました。

1980年、札幌の国際シンポジウムで、横田会長らが米国の代表に直訴し、米国が支援を約束。仙台市八木山動物公園には繁殖施設が完成。

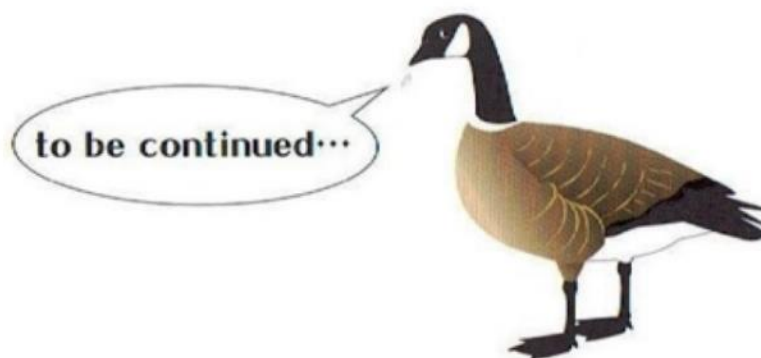
1989年、来日したカムチャツカの N. ゲラシモフさんが同意し、1995年に繁殖地千鳥での放鳥が始まりました。

やがて家族群が渡来し始め、その後、その数は 3,000羽を超え、絶滅から復活への道を歩み始めました。

日本雁を保護する会会長 呉地正行

絶滅したと思われていた
シジュウカラガンが
復活するまでの物語

絶滅したと思われていた シジュウカラガンが復活するまでの物語



この冊子は、公益信託「サントリー世界愛鳥基金(2017年度)」の助成金で作成しました。

発行/日本雁を保護する会 989-5505 宮城県栗原市若柳字川南南町16 E-mail: son_goose@sky.plala.or.jp D&I/幕田晶子 監修/呉地正行



ジャパンバードフェスティバル(2017年11月我孫子市)におけるブース展示